

フォーミュラリーが医療を変える —何がどのように変わるのか—

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

【講演内容】

13:00～13:10 イントロダクション 中垣 俊郎(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団理事)

13:10～13:50 適正な薬剤選択のためのフォーミュラリー作成について

増原 慶壮(聖マリアンナ医科大学客員教授)

13:50～14:30 フォーミュラリーに期待すること—行政の立場から—

田宮 憲一(厚生労働省保険局医療課薬剤管理官)

14:30～15:10 フォーミュラリー推進における薬剤師の役割を展望する

磯部 総一郎(元厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課長)

15:10～15:25 休 憩

15:25～16:05 フォーミュラリーへの期待—医薬品使用の安全性向上の観点から—

滝田 諭(日本製薬団体連合会安全性委員会委員長)

16:05～17:00 総合討論

共同司会：小山 弘子(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団参事、
研修企画コーディネーター)

秋山 典子(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団
渉外担当特命理事長付)

【日時および場所】

2020年2月19日(水) 13:00～17:00 (受付開始予定 12:30)

日本薬学会 長井記念ホール (東京都渋谷区渋谷 2-12-15 地下2階)

近年、中医協等においても、医療の場への「フォーミュラリー」の導入が話題となっております。フォーミュラリーとは、医薬品の有効性や安全性などを科学的根拠と効率性を総合的に評価して、医療機関や地域ごとに策定する医薬品の使用指針で、良質で適正な価格を維持した標準的薬物治療を推進することを目的としております。

わが国は急速に少子高齢化を迎えておりますが、医療費を削減し、公的医療保険制度を持続させる観点から、政府が作成した骨太方針においても、2015年から3年連続で生活習慣病に対する処方の方針の検討の必要性が盛り込まれました。

従来、医薬品の処方はずべて医師の知識と経験に基づく判断に任されておりましたが、主要な疾病に対して処方をフォーミュラリー化することにより、患者に対して最も有効で経済的な医薬品の使用が可能となるだけでなく、処方時や使用時における安全性の向上にもつながることが期待されます。

地域包括ケアや地域医療構想を考えるときには、患者を中心とした地域における病院、診療所、調剤薬局などの連携による地域フォーミュラリーの策定は、急性期から慢性期にわたるより効率的な薬物療法の実施に必須となってまいります。

一方、製薬企業にとっては、新薬といえども、有効性や安全性だけではなく、医療経済的な面からも既存薬と比較した優越性が求められます。フォーミュラリーが普及するにつれ、医薬品は医療経済的な面からの比較が常に行われるようになり、開発段階からの理論武装が必須となることが予想されます。

当研修会では、医療分野だけではなく、製薬企業の開発や市販後安全対策、営業、MR、MA、MSLなど、幅広い皆様方のご参加をいただき、フォーミュラリーの影響や、今後の在り方などを探ります。

つきましては、本研修会の趣旨にご賛同いただき、多数の皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

レギュラトリーサイエンス エキスパート研修会 専門コース(第257回)

フォーミュラーが医療を変える —何がどのように変わるのか—

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

後援 日本製薬団体連合会 日本ジェネリック製薬協会 公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財団
 日本製薬工業協会 米国研究製薬工業協会(PhRMA) 公益財団法人MR認定センター
 公益社団法人東京医薬品工業協会 欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan) 日本CSO協会
 関西医薬品協会 一般社団法人日本CRO協会 一般社団法人ARO協議会
 日本OTC医薬品協会 一般社団法人日本医薬品卸売業連合会

【申込要領】

1. 申込方法

受講希望の方は財団ホームページ (<https://www.pMRI.jp>) より申込手続を行ってください。

- ① ホームページ研修事業内「開催一覧」の研修会毎にある【申込】ボタンより、画面の案内に従って必要事項をご入力ください。
- ② 申込完了後、受付番号及び入金方法をメールにてお知らせいたしますので、受講料をお振込みください。
- ③ 受講料お振込みを確認した時点で、参加登録が完了いたします。入金確認メールをお送りいたしますので、研修会当日には**入金確認メール(受講票)**を印刷し、ご持参ください。

2. 受講料(消費税込)：テキスト代を含みます。

- ・法人賛助会員(法人賛助会員は1口につき4名が会員扱い)／個人賛助会員 14,000円
- ・レギュラトリーサイエンス エキスパート認定に係る登録者(MA・開発・PV分野対象) 12,000円
- ・非会員 20,000円
- ・行政／アカデミア／医療機関／学生 6,000円

なお受講者の方は、財団刊行物を特別価格でご購入いただけます。ご希望の方は、申込手続時に、案内に従ってご購入ください。その他の刊行物は、研修事業内「開催一覧」の「[お知らせ](#)」からご確認ください。

●<新刊>日英対訳 日本における医薬品のリスクマネジメント 第3版----- 13,000円

- 日本は慢性疼痛にどう挑戦していくのか-----2,500円
 - 映像で学ぶ薬害シリーズ「薬害の知識と教訓」(DVD)
 - 知っておきたい薬害訴訟の実際 -----2,500円
 - 温故知新 ～薬害から学ぶ～(DVD)
 - 微生物迅速試験法-----9,400円
- など

3. レギュラトリーサイエンス エキスパート認定単位

医薬品関係企業、行政機関、アカデミアおよび医療機関等の皆様に、最新の情報や知識等に関する研修の機会を利用し、研修実績を客観的に認定することで個人のモチベーションを高めスキルアップの持続を図っていただく制度です。当財団が行っている所定の研修会受講者をレギュラトリーサイエンス エキスパートとして認定いたします。

登録・認定の対象分野にはMA、開発、PV、品質、医療機器(2019年9月新設)、薬害教育があります。詳細は財団ホームページ「認定制度」をご覧ください。

本研修会は 登録単位 全分野：1単位

認定単位 **開発・PV分野：2単位** が、付与されます。

4. 注意事項

- * 振込依頼書のご依頼欄には、必ず**受付番号と受講者氏名(カタカナ)**をご記入ください。お申込み後に返信メールが届かない場合にはご連絡ください。
- * 受講料をお振込みの上、ご参加ください。原則として、電話、FAXでの受付及び当日受付はいたしませんのでご了承ください。
- * 現金送金をご遠慮願います。
- * 受講料受領後の払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。
- * お振込みの控えをもって領収書に代えさせていただきます。
- * 個人賛助会員の方、レギュラトリーサイエンス エキスパート認定登録者の方は、ご本人の出席に限ります。
- * 当日、許可された方以外の撮影及び録音をご遠慮願います。

5. 問い合わせ先

一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 研修担当；電話 03-3400-5644

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 / <https://www.pMRI.jp>

演題、講師、時間等一部変更する場合がありますので、予めご了承ください。